

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年3月25日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 貴陽福祉会	特別養護老人ホーム 第二南花園 (ユニット)	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
①見守り ②見守り機器の導入に伴う 通信環境整備	①見守り介護ロボット aams B018-AAMSKS ②Wi-Fi ルーターの設置 (ハブアッポー WAPS-1266 他)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和6年2月29日	①2台 ②一式	
【介護ロボットの使用状況 (使用する業務・使用頻度等)】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 3月から、看取りが必要な方や体力が落ちている方を対象に、毎日使用しております。スタッフ用PCだけでなく医務室のパソコンでも、バイタルや体動、睡眠の質を見ることが出来ますので、看護師や提携の医師とも情報を共有出来、とても便利です。 夜勤のスタッフからも、不安が減りましたとの声が上がっております。		
【介護ロボットの導入効果 (導入による業務改善状況等)】 ①1人あたり平均作業時間数 (分/日) ② 作業人数 (人/日) ③ 作業日数 (ひと月あたり) 〔導入前:① 30 ② 10 ③ 30〕〔導入後:① 20 ② 7 ③ 30〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 主な効果としては、看取りの方の居室への訪問回数が減り、介護職員の精神的負担も減りました。体調が数字化され保存も出来ますので、医師やご家族と早めに共有できます。いざという時の心の準備も出来ます。出来れば、インカムと一緒に全ベッドに欲しいです。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 とても便利な介護ロボットですが、もっと使いこなせるようになりたいです。社内勉強会など定期的開催していきます。全ベッドに設置すればかなりの効果が期待できますが、費用的に厳しいですので、これからも補助金等を有効活用させて頂きたいです。		

(別紙 2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6 年 3 月 3 1 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人宏仁会	地域密着型特別養護 老人ホーム清風荘うらやす	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
①見守り機器 ②見守り機器 ③通信環境	①Neos+Care ②眠り SCAN ③無線アクセスポイント入れ替えに係る設定作業および受信端末の導入	
介護ロボット導入時期	導入台数	
①②令和 6 年 3 月 19 日 ③令和 6 年 3 月 15 日	① 4 台 ② 2 台 計 6 台 ③ 一式	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ①入所間もない利用者や、疾患や不眠により転倒・転落リスクのある利用者4名に使用している。 ②不眠がちの方や見守りが必要な利用者、看取り対応を行っている利用者2名に使用している。マットレスの下に敷いて、24時間体制で、PCおよびipadでのデータ収集をしている。また、夜間中の睡眠・呼吸・心拍など、バイタルデータのモニタリングについて、実施している。		
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：①95 ②5.5 ③30 〕〔導入後：①85 ②5.5 ③30 〕 ・特に見守りを必要とする方の状況について、ipadやPCの画面上でシルエット画像やバイタル状況を確認することができるようになった。そのため、必要な訪室を職員がその場で判断できるようになった。 ・新型コロナウイルスやインフルエンザ等、感染症の拡大防止策として、介護職員と入居者の必要以上の接触を避けることができ、衛生管理にも寄与することが期待される。 ・まだ設置が完了して日が浅いため、明確な効果測定には至っていないが、特に夜間や朝方の身体的・精神的負担の軽減につながることを期待する介護職員の声大きい。		
【介護ロボットの不都合な点】 ・いずれの機器も、事前に施設内のネットワーク環境を調査する必要がある。Neos+Care、眠りscan、通信機、いずれにも条件を満たす電波強度を確保できるwi-fi環境を、各ユニットの居室ごとに確保しなければならず、あらかじめ、調査を実施したうえで、各メーカー、販売会社、ネットワーク環境の施工会社とよく話し合って、導入スケジュールや施工管理を検討しなければならない。		

・将来的に施設で利用中のナースコールとの連携を考慮する場合、あらためて施工をすることを想定したうえで、既存の介護ロボットと連携するための接続機器やシステム構成を考慮しておく必要がある。

・介護ロボットを導入しただけでは、施設が求めるケア環境が十分に達成できるわけではなく、システム環境はもとより、ロボットの活用を前提とした業務手順に切り替える必要がある。従前の業務手順のままロボットを導入しても、「かえって手間が増えた」と感じる職員も多い。

・導入が完了して以降も、安定した機器の運用には、設置事業者からの定期サポートや販売会社およびメーカーからの使用方法の指導を定期的にする必要があるため、これらの費用もランニング費用として確保していく必要がある。

・設置する居室ごとに設定を変更する必要がある。その他の介護ロボットでも綿密な設定が必要だが、できれば、どこに設置しても自動認識して設定変更できるようになると更に良いと考える。

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年 3月31日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人宏仁会	地域密着型特別養護 老人ホーム清風荘舞浜	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
①見守り機器 ②見守り機器	①Neos+Care ②見守り支援システム 眠り SCAN	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 6年 3月 19日	① 3台 ② 2台 計 5台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】		
<p>①入所間もない利用者や、疾患や不眠により転倒・転落リスクのある利用者3名に使用している。</p> <p>②不眠がちの方や見守りが必要な利用者、看取り対応を行っている利用者2名に使用している。</p> <p>マットレスの下に敷いて、24時間体制で、PCおよびipadでのデータ収集をしている。また、夜間中の睡眠・呼吸・心拍など、バイタルデータのモニタリングについて、実施している。</p>		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】		
<p>①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：①95 ②4 ③30 〕〔導入後：①85 ②4 ③30 〕</p> <p>・特に見守りを必要とする方の状況について、ipadやPCの画面上でシルエット画像やバイタル状況を確認することができるようになった。そのため、必要な訪室を職員がその場で判断できるようになった。</p> <p>・新型コロナウイルスやインフルエンザ等、感染症の拡大防止策として、介護職員と入居者の必要以上の接触を避けることができ、衛生管理にも寄与することが期待される。</p> <p>・まだ設置が完了して日が浅いため、明確な効果測定には至っていないが、特に夜間や朝方の身体的・精神的負担の軽減につながることを期待する介護職員の声大きい。</p>		
【介護ロボットの不都合な点】		
<p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>・いずれの機器も、事前に施設内のネットワーク環境を調査する必要がある。Neos+Care、眠りscan、通信機、いずれにも条件を満たす電波強度を確保できるwi-fi環境を、各ユニットの居室ごとに確保しなければならず、あらかじめ、調査を実施したうえで、各メーカー、販売会社、ネットワーク環境の施工会社とよく話し合っ、導入スケジュールや施工管理を検討しなければならない。</p> <p>・将来的に施設で利用中のナースコールとの連携を考慮する場合、あらためて施工をすることを</p>		

想定したうえで、既存の介護ロボットと連携するための接続機器やシステム構成を考慮しておく必要がある。

- ・介護ロボットを導入しただけでは、施設が求めるケア環境が十分に達成できるわけではなく、システム環境はもとより、ロボットの活用を前提とした業務手順に切り替える必要がある。従前の業務手順のままロボットを導入しても、「かえって手間が増えた」と感じる職員も多い。

- ・導入が完了して以降も、安定した機器の運用には、設置事業者からの定期サポートや販売会社およびメーカーからの使用方法の指導を定期的にする必要があるため、これらの費用もランニング費用として確保していく必要がある。

- ・設置する居室ごとに設定を変更する必要がある。その他の介護ロボットでも綿密な設定が必要だが、できれば、どこに設置しても自動認識して設定変更できるようになると更に良いと考える。

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年 2月 / 20日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人阿育会 ✓	グループホームあすなる ✓	認知症対応型 共同生活介護 ✓
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
① 見守り ✓ ② 見守り ✓	① みまもりベッドセンサーシステム C1 ✓ ② みまもりベッドセンサーシステム C1(増設キット)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 5年 12月 20日 ✓	2台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 認知症による徘徊や転倒リスクのある方の臥床状況の見守りに利用 ✓		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） [導入前：① ② ③] [導入後：① ② ③] ✓ ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 従来からベッド足元に設置利用していた市販の廉価な赤外線人感センサーに比べ、明らかな誤報は減ったが、センサー反応時の対応であることから定量的な介護時間の短縮効果はなく、上記時間数は記入しない（設置したのは9室中の2室であり、定時の巡回は変わらず全室に行なっている）。起き上がり時点で警報を鳴らすことで立ち上がりに対してやや早い介助対応ができています。大きな体動も確認できることで、布団の中でオムツを外しての排泄なども予防できるのではないかと期待される。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 ✓ 導入によりリアルタイムの情報量が増し、併行する他業務への集中力を削ぐ。また、「結果として何事もなかった場合」にも未然の対応をすることで業務効率を落とす恐れがある。 ベッド四足の荷重変化での状態判定だが、実状との差異は見られる。 ベッド足の形状により利用できないので、使いたい居室・入居者に気軽に移動できない。 モニターを Web ブラウザで行えるため専用端末は購入せず在り物のタブレットを使用しているが、衝撃・防水・消毒薬品の耐性が低く、大きく携行しづらく、また、無効化できないスリープ機能や意図しない操作ミス・動作不良でモニター状態以外への画面遷移が起きるなど信頼性が低い。導入に補助金は下りるがシステムの運用コストも含めた金銭的負担は大きい。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 3月19日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
有限会社ウェルフェア	グループホーム秋津	認知症対応型共同生活介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	Neos+Care	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 6年 1月 30日	2台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>・ご利用者様9名のうち転倒リスクの高い方2名にセンサーを設置し、24H見守った。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：①60分②2人③20日〕〔導入後：①30分②1人③10日〕</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>・従来のセンサーは、反応するたびに様子見に訪室していたが、Neos+Careではシルエット動画でお部屋の様子を判断できたので、夜間の訪室回数が平均3回→1回に減った。</p> <p>・スタッフの休憩時間がとれるようになった。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>今のところ特になし。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 3月19日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
有限会社ウェルフェア	グループホーム谷津苑	認知症対応型共同生活介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	Neos+Care	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 6年 1月 30日	2台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>・転倒リスクの高いAさん、Bさんにセンサーを設置。主に夜間の見守りに使用。「起き上がり」を検知した段階でスマホの画像でAさんの状況をスタッフが確認し、離床に繋がる「端座位」体勢に入ると予測した場合に訪室介助することとした。またセンサー検知が無くても、居室内状況をスマホで確認し、異常が無いか対応した。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>①1人あたり平均作業時間数（分/日） ②作業人数（人/日） ③作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：①60分②2人③20日〕〔導入後：①30分②1人③10日〕</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>・Bさんはベッドから立ち上がる際に転倒することがしばしばあった（3回/月）が、センサーを設置してからは転倒事故には至っていない。</p> <p>・Aさんはこれまで夜間、ぐっすり就寝しておられると思っていたが、センサー検知動画を見ると朝方30分おきに離床していることが分かった。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>今のところ特になし。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 4月 5日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人清栄会	特別養護老人ホームシオン銚子(広域型)	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
介護ロボット	HitomeQ ケアサポートソリューション	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 6年 2月 1日	8台	
【介護ロボットの使用状況(使用する業務・使用頻度等)】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 日々の業務を行う際に定常的にスマートフォンを携帯し、入居者の行動検知の通知を受信した際に、スマートフォンにて画像・ライブ映像を見て訪室の要否を判断している。		
【介護ロボットの導入効果(導入による業務改善状況等)】 ① 1人あたり平均作業時間数(分/日) ② 作業人数(人/日) ③ 作業日数(ひと月あたり) [導入前: ①時間 変化なし ②14~16名※ ③30-31日] [導入後: ①時間 変化なし ②14~16名※ ③30-31日] ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 稼働開始2か月のため効果検証スタートのタイミング。 スマートフォンを用いた操作習熟、入居者毎にADLに合わせた通知設定(起床・離床・転倒転落)を行い、受信の際に訪室の要否を判断の上で訪室を実施。通知に対してライブ映像使用率は21%と標準より高く、また訪室率は通知に対して13%と今までは状況が分からずまず訪室していたが必要な訪室の見極めができています。訪室に係る業務の効率化と、必要な際の介護介入が出来ています。今後は安心安全に係る取り組みを行っていく。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 特になし。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 4月 5日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人清栄会	特別養護老人ホームシオン銚子 (地域密着型)	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り 介護ロボット	HitomeQ ケアサポートソリューション	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 6年 2月 1日	3台	
<p>【介護ロボットの使用状況 (使用する業務・使用頻度等)】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>日々の業務を行う際に定常的にスマートフォンを携帯し、入居者の行動検知の通知を受信した際に、スマートフォンにて画像・ライブ映像を見て訪室の要否を判断している。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果 (導入による業務改善状況等)】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数 (分/日) ② 作業人数 (人/日) ③ 作業日数 (ひと月あたり)</p> <p>[導入前: ①時間 変化なし ②2~3名※ ③30~31日]</p> <p>[導入後: ①時間 変化なし ②2~3名※ ③30~31日]</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>稼働開始2か月のため効果検証スタートのタイミング。</p> <p>スマートフォンを用いた操作習熟、入居者毎にADLに合わせた通知設定 (起床・離床・転倒転落) を行い、受信の際に訪室の要否を判断の上で訪室を実施。通知に対してライブ映像使用率は21%と標準より高く、また訪室率は通知に対して13%と今までは状況が分からず訪室していたが必要な訪室の見極めができています。訪室に係る業務の効率化と、必要な際の介護介入が出来ている。今後は安心安全に係る取り組みを行っていく。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>特になし。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年3月31日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人六高台福祉会	通所介護事業所松寿園	通所介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
①移乗	①ダイヤ工業 アシストスーツ DARWING Hakobelude	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和5年12月9日	2台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>移乗・排泄・入浴をはじめとする介護業務を中心に活用しております。また、介護備品の運搬や掃除等の周辺業務時にも活用しております。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：① 90 ② 4 ③ 30〕〔導入後：① 90 ② 2 ③ 30〕</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>腰痛のある職員を中心に介助をはじめとする日常業務で活用。機器を装着することで中腰姿勢がとても楽で負担が軽減されます。腰痛のない職員も使用しておりますが同様の評価があることから腰痛防止にも期待がもてます。また、機器の装着により無理な体制なく介助が行えることで、職員の負担軽減と利用者に安全・安楽な介護が提供できるため、結果としてサービス向上にも繋がっております。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>慣れるととても使いやすいのですが、装着するのに時間を要するのが気になります。更に手軽に装着できると便利です。</p> <p>女性職員が装着する際に胸部が強調されるため、カバーできるデザインがあればという声もありました。</p> <p>身体の大きい職員用にLLサイズがあると良いと思います。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年3月31日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人六高台福祉会	松寿園デイサービスセンター メル・グラン	認知症対応型通所介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
①移乗	①ダイヤ工業 アシストスーツ DARWING Hakobelude	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和5年12月9日	2台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>移乗・排泄・入浴をはじめとする介護業務を中心に活用しております。また、介護備品の運搬や掃除等の周辺業務時にも活用しております。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） [導入前：① 90 ② 4 ③ 30] [導入後：① 90 ② 2 ③ 30]</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>腰痛のある職員を中心に介助をはじめとする日常業務で活用。機器を装着することで中腰姿勢がとても楽で負担が軽減されます。腰痛のない職員も使用しておりますが同様の評価があることから腰痛防止にも期待がもてます。また、機器の装着により無理な体制なく介助が行えることで、職員の負担軽減と利用者に安全・安楽な介護が提供できるため、結果としてサービス向上にも繋がっております。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>慣れるととても使いやすいのですが、装着するのに時間を要するのが気になります。更に手軽に装着できると便利です。</p> <p>女性職員が装着する際に胸部が強調されるため、カバーできるデザインがあればという声もありました。</p> <p>身体の大きい職員用にLLサイズがあると良いと思います。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年3月31日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人六高台福祉会	短期入所生活介護事業所松寿園	短期入所生活介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
①移乗	①ダイヤ工業 アシストスーツ DARWING Hakobelude	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和5年12月9日	2台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>移乗・排泄・入浴をはじめとする介護業務を中心に活用しております。また、介護備品の運搬や掃除等の周辺業務時にも活用しております。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） [導入前：① 90 ② 4 ③ 30] [導入後：① 90 ② 2 ③ 30]</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>腰痛のある職員を中心に介助をはじめとする日常業務で活用。機器を装着することで中腰姿勢がとても楽で負担が軽減されます。腰痛のない職員も使用しておりますが同様の評価があることから腰痛防止にも期待がもてます。また、機器の装着により無理な体制なく介助が行えることで、職員の負担軽減と利用者に安全・安楽な介護が提供できるため、結果としてサービス向上にも繋がっております。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>慣れるととても使いやすいのですが、装着するのに時間を要するのが気になります。更に手軽に装着できると便利です。</p> <p>女性職員が装着する際に胸部が強調されるため、カバーできるデザインがあればという声もありました。</p> <p>身体の大きい職員用にLLサイズがあると良いと思います。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5 年 12 月 28 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人徳和会	特別養護老人ホームあかいの郷	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見張り番 2 NC セット コードレスフロアースェット	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 5 年 11 月 日	5 台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>・5名に利用。夜間に定時の巡視を行っているが、徘徊や転倒リスクの高い利用者に関しては、それ以外にも複数回居室に行き、安全を確認。介護ロボット導入直後は巡視の回数を減らしてはなかったが、現在は、安定した使用が見込まれる為、巡視の回数を減らした。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>[導入前：① 320分 ② 3 ③] [導入後：① 240分 ② 2 ③]</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>・見守り強化中のご利用者の巡視：1時間に2～3回 現在：1時間に1回～2回</p> <p>・現在、転倒事故は起こってはないため、安心してその他のサポートに専念できている。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>・現時点では、不具合は感じていない。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年 3月 1日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人慶宗会	千年希望の杜佐倉	地域密着型介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	シルエット見守りセンサー	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 5年 12月 26日	6台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 転倒リスクの高い利用者のうち上位から6名に対し使用している状況である。 6台と限られた台数のため、常にリスクの大小を意識しながら、必要に応じて設置場所の変更を行う事で対応している。設置・移動方法が簡単であるため、職員に指示しておくことで適切な設置が可能、入居し始めての1週間は評価期間として導入することで日中・夜間帯の動きのパターンが把握しやすく職員間の共有が安易に可能。転倒リスクを的確に評価することが可能		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数(分/日) ② 作業人数(人/日) ③ 作業日数(ひと月あたり) [導入前: ①120分②3③30] [導入後: ①30分②3③30] 転倒高リスク者に対して頻回な訪室、常時物音などに意識を向けていた時間や動作が削減。物理的に訪室する時間の削減だけでなく、職員の精神面での負担軽減にもなり、効果を発揮している。利用者様の安眠妨害をすることもなく、不安で行動されているときなどは逆に即座に対応することが出来、転倒防止だけでなく良眠・安心の提供にも役立っている。転倒後の原因分析、再発防止にも一役買っている。		
【介護ロボットの不都合な点】 無線環境を整備するのに、手間と費用が掛かってしまった。今回は、簡易的な無線環境を整備することで費用面ではかなり安価に準備することが出来た。物理的にカメラがあることに対する抵抗感は設置当初、職員・利用者様共に感じたが、時間の経過と共に解消されつつある。長期的に使用しないと効果は図れない。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 3月19日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人豊立会	特別養護老人ホーム玲光苑	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	AAMSKWLS/23 aams 介護セット	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 6年 1月26日	2 台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>・お看取りの方1名、意識消失を繰り返し、常時ベッド上静養となっている方1名の計2名。 1名は食事時間以外使用。1名は常時使用する。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：① ② ③ 〕〔導入後：① ② ③ 〕</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等を活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>①意識消失や呼吸停止の可能性のある為、30分に1度の巡回を実施していたが、aams導入後はモニターを確認する事で心拍の確認がとれる為、1時間に1度の巡回とセンサー反応時に対応している。常時臥床の方で24時間対応。30分ごとに5分の巡回⇒1日240分が1日120分に減少する。</p> <p>②早番2名、遅番2名、夜勤者1名、合計5名。</p> <p>③<導入前>1日240分×30日=7200時間 <導入後>1日120分×30日=3600時間</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>・停電やWi-fiの接続不良で一時的に使用できない時間があり、不安があった。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 3月19日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人豊立会	ユニット型指定介護老人福祉施設玲光苑なのはな館	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	AAMSKWLS/23 aams 介護セット	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 6年 1月26日	2 台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】		
<ul style="list-style-type: none"> ・夜間帯定時巡回、トイレ誘導、離床目安、ご入居者様の状況把握、事故防止の為に使用している。 		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】		
<ul style="list-style-type: none"> ・眠りの状況が分かり、ベッド上での動きも把握できている。 夜間帯の巡視時間、離床時間、トイレ誘導時間の見直しに活用できている。 ・詳細 <input type="checkbox"/>消灯から起床まで8時間 <input type="checkbox"/>定期巡視1時間に1回、リスクの高い ご利用者様は30分に1回（明け方） <input type="checkbox"/>1階の巡視時間5分 <input type="checkbox"/>夜勤者1名 1台につき 導入前：11回×5分=55分×30日=1,650時間（27.5時間） 導入後：8回×5分=40分×30日=1,200時間（20時間）※-7.5時間 ・お看取りの方、体調の悪い方の状態把握ができる。訪室するタイミングの目安にもなり今までよりも訪室する回数が減った。（必要なタイミングで訪室できるようになった） ・眠りの状態や覚醒したタイミングが分かる為、ご家族への状態説明にも活用できている。 		
【介護ロボットの不都合な点】		
<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンとの連動が必要な為、パソコンが苦手な職員は敬遠してしまう。 ・可能であれば全ベッドに設置し個々のご入居者様達の状態把握できる環境にしたい。介護ロボット補助金を有効に活用させてほしい。 		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 2月 19日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 宝樹	グループホームニコニコット	認知症対応型共同生活介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り・コミュニケーション	センサー及びシステム一式	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和6年1月31日	5台	

【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】

※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

- ① 職員全員が、見守りセンサーの操作に徐々に慣れてきており、認知症が進行している方の行動パターンを個別に把握することで居室内で起きる単独事故を未然に防ぐ取り組みが推進されています。リスクを伴う動作があった場合にはチャイムによる知らせが届き、速やかに居室に駆けつけ、安全な動きに誘導できています。
- ② 入居者にとって危険が回避されるだけでなく、職員にとっても過度の緊張や不安が取り除かれています。居室巡回においても常時モニターで確認できるため、その頻度は大幅に削減され他の業務で、より効率的な動きにつながっています。
- ③ 事故につながる動作があった場合、随時、履歴により行動を検証し、居室内の導線や備品の設置などについて検討していくことができるようになりました。事故が起きる前に効率的な対応をとることで、大きな事故が起きた際の時間的、労力的な負担が軽減できます。
- ④ 設置後に居室内の事故は起きていませんが、発生した場合にご家族への説明がよりの確になることが期待され、職員の精神的負担が軽減される安堵感が生まれています。
- ⑤ 法人内で ICT の活用のモデル事業所と位置付けられており、他事業所の視察などを通じて職員の間には自信と活気が生まれています。

- ⑥ より有効な活用を職員全体で考えることで、職員間の連携が深まりました。
- ⑦ 介護記録を入居者ごとに時系列で示す一覧表の作成に活用し、引継ぎ時など一目瞭然で入居者の一日の様子がわかる仕組みに役立てています。

【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】

- ① 1人あたり平均作業時間数（分/日）②作業時間（人/日）③作業時間（ひと月あたり）
[導入前：① ② ③][導入後：① ② ③]
導入後まだ間もないことから設置業者と協力し各種設定を2月中に終えるよう作業を行っております。そのため、効率を数値化するまでには至っておりませんが、介護従事者（常勤換算 17.5 人）の月間残業時間は一人当たり平均 30 分です。
- ② 夜間見守りが必要な利用者の巡視をセンサー検知時のみとし、巡回回数は一日延べ 90 回から平均 70 回程度に減少しています。
- ③
- ④ 危険な動きがあった場合は、センサーが検知しチャイムで知らせるため、休憩時間が確保されています。
- ⑤ 導入後、まだ日が浅いためすべての機能を使いこなすには至っていないが、今後、さらに効率的な業務が行われていくことに期待が持てます。

【介護ロボットの不都合な点】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。
現在のところ不都合な点は見当たりませんが、入居者お一人お一人の身体機能の変化に応じて的確に危険通知設定の変更が行えるよう操作を習得していく必要があります。

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年2月27日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 慶美会	レガール市川ショートステイ	老人短期入所生活介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	Aams 介護セット・ワイヤレス分配器セット	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和6年1月16日	8台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>24時間ベッド上の様子をデータ管理させて頂き、体調把握（心拍・呼吸・体動）と起き上がりや離床・睡眠状況の確認をパソコンの画面で把握し、入居者様の適したタイミングで支援を行うことができる。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） [導入前：① ② 7人 ③ 30日] [導入後：① ② 7人 ③ 30日]</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>見守り介護ロボット使用者の体動や覚醒頻度により、訪問回数を削減することができる（夜間帯においては最大9回から3回程度へ）</p> <p>受診などの時に医師に体調の情報を提供することができる。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>無線（wi-fi）の為通信に不安定さがある。使用者の動作に適したセンサー設定に時間を要する</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年2月27日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 慶美会	レガール市川	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	Aams 介護セット一式	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和6年1月16日	30台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 24時間ベッド上の様子をデータ管理させて頂き、体調把握（心拍・呼吸・体動）と起き上がりや離床・睡眠状況の確認をパソコンの画面で把握し、入居者様の適したタイミングで支援を行うことができる。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） [導入前：① ② 7人 ③ 30日] [導入後：① ② 7人 ③ 30日] ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 見守り介護ロボット使用者の体動や覚醒頻度により、訪問回数を削減することができる（夜間帯においては最大9回から3回程度へ） 受診などの時に医師に体調の情報を提供することができる。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 無線（wi-fi）の為通信に不安定さがある。使用者の動作に適したセンサー設定に時間を要する		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年 4月 9日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人恒久福祉会 /	地域密着型特別養護老人ホームさざなみ苑【ユニット型】	特別養護老人ホーム /
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り /	見守りケアシステム M-2 /	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 6年 3月26日	2台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 /</p> <p>夜間帯19時～翌7時までの12時間に活用し1時間ごとの巡視から導入ベッドの対象者のみは、2時間ごとの巡視に切り替えている。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：①4時間 ② 1名 ③30日〕〔導入後：①3時間 ② 1名 ③30日〕</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 /</p> <p>夜間帯19時～7時までの12時間において、概ね1時間ごと、計12回の巡視において、1回あたり20分の巡視が15分に短縮された。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 /</p> <p>特になし。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年 4月 9日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人恒久福社会	地域密着型特別養護老人ホームさざなみ苑	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りケアシステム M-2	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 6年 3月26日	4台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>夜間帯19時～翌7時までの12時間に活用し1時間ごとの巡視から導入ベッドの対象者のみは、2時間ごとの巡視に切り替えている。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） [導入前：①8時間 ② 1名 ③30日] [導入後：①6時間 ② 1名 ③30日]</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>夜間帯19時～7時までの12時間において、概ね1時間ごと、計12回の巡視において、1回あたり40分の巡視が30分に短縮された。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>特になし。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年3月30日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
医療法人社団恒久会	メディケアーならわ	短期入所生活介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りケアシステム M2	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和6年3月26日	2台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>→ ベッドからの転倒、転落の可能性が高い利用者に使用しており、日々の生活のなかで、利用者の動きをセンサーが感知し、職員がそれを知ることができるのでリスクが軽減している。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：①600分/日 ②1人/日 ③30日〕〔導入後：①100分/日 ②1人/日 ③30日〕</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>→ 導入前は、利用者の動きを監視、見守りしている必要があったが、導入後はセンサーの反応にあわせることができるようになったので、職員の身体的・精神的負担軽減につながっており、職員の満足度は高い。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>→ 特に大きな不都合なく使用できているが、体重に変更があるとセンサーが反応しないこともある。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年3月30日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
医療法人社団恒久会	メディケアーさざなみ	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りケアシステム M2	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和6年3月26日	3台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>→ ベッドからの転倒、転落の可能性が高い利用者に使用しており、日々の生活のなかで、利用者の動きをセンサーが感知し、職員がそれを知ることができるのでリスクが軽減している。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：①600分/日 ②4人/日 ③30日〕〔導入後：①100分/日 ②4人/日 ③30日〕</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>→ 導入前は、利用者の動きを監視、見守りしている必要があったが、導入後はセンサーの反応にあわせることができるようになったので、職員の身体的・精神的負担軽減につながっており、職員の満足度は高い。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>→ 特に大きな不都合なく使用できているが、体重に変更があるとセンサーが反応しないこともある。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年3月30日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
医療法人社団恒久会	メディケアーやまゆり	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りケアシステム M2	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和6年3月26日	3台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>→ ベッドからの転倒、転落の可能性が高い利用者に使用しており、日々の生活のなかで、利用者の動きをセンサーが感知し、職員がそれを知ることができるのでリスクが軽減している。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：①600分/日 ②4人/日 ③30日〕〔導入後：①100分/日 ②4人/日 ③30日〕</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>→ 導入前は、利用者の動きを監視、見守りしている必要があったが、導入後はセンサーの反応にあわせることができるようになったので、職員の身体的・精神的負担軽減につながっており、職員の満足度は高い。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>→ 特に大きな不都合なく使用できているが、体重に変更があるとセンサーが反応しないこともある。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 2月 5日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
医療法人社団親月会	介護老人保健施設みどりの家	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り支援	<ul style="list-style-type: none"> ・シルエット見守りセンサー WOS-321 一式 18台 ・眠り SCAN NN-1520 2台 	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和6年1月5日	20台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>シルエット見守りセンサーは認知症の進行による挙動が不安定な利用者を対象に設置をおこなったが、現時点ではアプリが反応して職員が出動した事例はない。眠りSCANについては特に夜間挙動・体動が不穏な利用者、または睡眠不足、不眠症の利用者の状態を記録している。異常が出来た場合は職員の訪室を行うこととしているが、現時点では事例は発生していない。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：①15分②1名③30日〕〔導入後：①15分②1名③30日〕</p> <p>作業時間数、人員、日数等の軽減よりも、夜間の訪室回数を減らす効果が期待されたロボットであるが、初期段階の現時点では定期訪室のルールを見直す段階ではない。また、100床に対して設置済みは昨年導入したものを合わせて25床であるため、絶対数が足りないことから、飛躍的に導入効果が表れるのはかなり先のこととなる。</p>		
<p>(介護ロボットの不都合な点)</p> <p>補助金申請がナースコール、PCとの連動など条件的にハードルが高いことで、ロボット本体の費用が高価になり、一度に揃えられる台数が限られてしまい、施設が自力で揃える資金もないため、職員の作業効率に一定の効果が得られるまでには数年の期間を要する。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 4月 2日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
セントケア千葉株式会社	セントケアホーム矢切	認知症対応型共同生活介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り支援	眠り SCAN NN-1520	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和5年12月19日	2台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>令和6年3月より入居者2名に対しセンサーを設置 夜間19:00～7:00の間に見守りセンサーを毎日運用 睡眠状況のデータ収集中</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） [導入前：① ② ③] [導入後：① ② ③]</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 令和6年3月からセンサー運用実施 睡眠データ及び離床データの収集を行う。 令和6年5月末までデータ収集を行い、夜間訪室頻度の見直しを立案する。 令和6年3月～1か月間具体的な業務改善には至っていない。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>令和6年3月からセンサー運用を行い2か月間睡眠状況のデータ収集を行う。 離床通知に若干タイムラグがあり、訪室すると既に離床後であるケースがみられた。 メーカーに感度調整を実施していただく。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 4月 2日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
セントケア千葉株式会社	セントケアホーム夏見	認知症対応型共同生活介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り支援	眠り SCAN NN-1520	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和5年12月19日	2台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 令和6年3月より入居者2名に対しセンサーを設置 夜間19:00～7:00の間に見守りセンサーを毎日運用 睡眠状況のデータ収集中		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） [導入前：① ② ③] [導入後：① ② ③] ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 令和6年3月からセンサー運用実施 睡眠データ及び離床データの収集を行う。 令和6年5月末までデータ収集を行い、夜間訪室頻度の見直しを立案する。 令和6年3月～1か月間具体的な業務改善には至っていない。		
【介護ロボットの不都合な点】 令和6年3月からセンサー運用を行い2か月間睡眠状況のデータ収集を行う。 離床通知に若干タイムラグがあり、訪室すると既に離床後であるケースがみられた。 メーカーに感度調整を実施していただく。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 4月 2日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
セントケア千葉株式会社 /	セントケアホーム佐倉 /	認知症対応型共同生活介護 /
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り支援 /	眠り SCAN NN-1520 /	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和5年12月19日	2台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 令和6年3月より入居者2名に対しセンサーを設置 夜間19:00~7:00の間に見守りセンサーを毎日運用 睡眠状況のデータ収集 /		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） [導入前：① ② ③] [導入後：① ② ③] ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 令和6年3月からセンサー運用実施 睡眠データ及び離床データの収集を行う。 令和6年5月末までデータ収集を行い、夜間訪室頻度の見直しを立案する。 / 令和6年3月~1か月間具体的な業務改善には至っていない。		
【介護ロボットの不都合な点】 令和6年3月からセンサー運用を行い2か月間睡眠状況のデータ収集を行う。 離床通知に若干タイムラグがあり、訪室すると既に離床後であるケースがみられた。 / メーカーに感度調整を実施していただく。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 4月 2日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
セントケア千葉株式会社	セントケアホーム千葉中央	認知症対応型共同生活介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り支援	眠り SCAN NN-1520	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和5年12月19日	2台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>令和6年3月より入居者2名に対しセンサーを設置 夜間19:00～7:00の間に見守りセンサーを毎日運用 睡眠状況のデータ収集中</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） [導入前：① ② ③] [導入後：① ② ③]</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 令和6年3月からセンサー運用実施 睡眠データ及び離床データの収集を行う。 令和6年5月末までデータ収集を行い、夜間訪室頻度の見直しを立案する。 令和6年3月～1か月間具体的な業務改善には至っていない。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>令和6年3月からセンサー運用を行い2か月間睡眠状況のデータ収集を行う。 離床通知に若干タイムラグがあり、訪室すると既に離床後であるケースがみられた。 メーカーに感度調整を実施していただく。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 4月 2日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
セントケア千葉株式会社	セントケアホーム蘇我	認知症対応型共同生活介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り支援	眠り SCAN NN-1520	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和5年12月19日	2台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>令和6年3月より入居者2名に対しセンサーを設置 夜間19:00～7:00の間に見守りセンサーを毎日運用 睡眠状況のデータ収集中</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） [導入前：① ② ③] [導入後：① ② ③]</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 令和6年3月からセンサー運用実施 睡眠データ及び離床データの収集を行う。 令和6年5月末までデータ収集を行い、夜間訪室頻度の見直しを立案する。 令和6年3月～1か月間具体的な業務改善には至っていない。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>令和6年3月からセンサー運用を行い2か月間睡眠状況のデータ収集を行う。 離床通知に若干タイムラグがあり、訪室すると既に離床後であるケースがみられた。 メーカーに感度調整を実施していただく。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 4月 2日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
セントケア千葉株式会社	セントケアホーム浜野	認知症対応型共同生活介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り支援	眠り SCAN NN-1520	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和5年12月19日	2台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 令和6年3月より入居者2名に対しセンサーを設置 夜間19:00～7:00の間に見守りセンサーを毎日運用 睡眠状況のデータ収集中		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） [導入前：① ② ③] [導入後：① ② ③] ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 令和6年3月からセンサー運用実施 睡眠データ及び離床データの収集を行う。 令和6年5月末までデータ収集を行い、夜間訪室頻度の見直しを立案する。 令和6年3月～1か月間具体的な業務改善には至っていない。		
【介護ロボットの不都合な点】 令和6年3月からセンサー運用を行い2か月間睡眠状況のデータ収集を行う。 離床通知に若干タイムラグがあり、訪室すると既に離床後であるケースがみられた。 メーカーに感度調整を実施していただく。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 4月 2日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
セントケア千葉株式会社	セントケアホーム木更津おおくぼ	認知症対応型共同生活介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り支援	眠り SCAN NN-1520	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和5年12月19日	1台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>令和6年3月より入居者1名に対しセンサーを設置 夜間19:00～7:00の間に見守りセンサーを毎日運用 睡眠状況のデータ収集中</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） [導入前：① ② ③] [導入後：① ② ③]</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>令和6年3月からセンサー運用実施 睡眠データ及び離床データの収集を行う。 令和6年5月末までデータ収集を行い、夜間訪室頻度の見直しを立案する。 令和6年3月～1か月間具体的な業務改善には至っていない。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>令和6年3月からセンサー運用を行い2か月間睡眠状況のデータ収集を行う。 離床通知に若干タイムラグがあり、訪室すると既に離床後であるケースがみられた。 メーカーに感度調整を実施していただく。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 4月 2日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
セントケア千葉株式会社	セントケアホーム君津	認知症対応型共同生活介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り支援	眠り SCAN NN-1520	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和5年12月19日	2台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 令和6年3月より入居者2名に対しセンサーを設置 夜間19:00～7:00の間に見守りセンサーを毎日運用 睡眠状況のデータ収集中		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） [導入前：① ② ③] [導入後：① ② ③] ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 令和6年3月からセンサー運用実施 睡眠データ及び離床データの収集を行う。 令和6年5月末までデータ収集を行い、夜間訪室頻度の見直しを立案する。 令和6年3月～1か月間具体的な業務改善には至っていない。		
【介護ロボットの不都合な点】 令和6年3月からセンサー運用を行い2か月間睡眠状況のデータ収集を行う。 離床通知に若干タイムラグがあり、訪室すると既に離床後であるケースがみられた。 メーカーに感度調整を実施していただく。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 1月 15日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
株式会社コンフォート	コンフォートフィオーレ船橋	認知症対応型共同生活介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
移乗介護	マッスルスーツ GSBACK	
介護ロボット導入時期	導入台数	● マッスルスーツ GS-BACK Mサイズ
令和 5年 11月 10日	2台	● マッスルスーツ GS-BACK Lサイズ
<p>【介護ロボットの使用状況(使用する業務・使用頻度等)】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>夜勤中の要介助お客様のオムツ交換、陰部洗浄時に使用。 使用頻度については職員によりばらつきがあり、多い職員は夜勤中2~3回程度使用。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果(導入による業務改善状況等)】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数(分/日) ② 作業人数(人/日) ③ 作業日数(ひと月あたり) 〔導入前: ①15分②4人③30日〕〔導入後: ①15分②4人③30日〕</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>介助にかかる時間や、介助される利用者の満足度には変化は無いように思える。 元々腰痛持ちの職員等が居ない為、身体への負担が劇的に軽減されるような報告はないが、車椅子の方、要介護度の高い方が多いことから、使用者は腰の負担の軽減を感じている。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>弊事業所サービス(グループホーム)において、少ない職員数で現場を担当するため、身体介助、入浴、食事などをそれぞれが交互に行う際に、やはり着脱に時間がかかること・介護ロボットそのものに重量があること・サイズが大きいことから、ずっと装着することが難しい。そのため、使用時間が一時的なものに限られており、効果の実感が難しい。使用者により機器への評価にばらつきが見られる為、全員に対して一定以上の効果を出すことが難しい。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年3月27日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
株式会社アングル	ショートステイゆかり大原	老人短期入所施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
入浴支援	リフト付きシャワーキャリー	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 5年 11月 27日	1台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊サービス利用者に対し使用し、移乗や洗体などの無理な姿勢による腰痛防止のために使用している。 ・ 		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） [導入前：①100分/日 ②1.5人/日 ③30日] [導入後：①90分/日 ②1人/日 ③30日]</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>下肢機能・身体機能低下により入浴が困難であった利用者の入浴の際、これまで2人介助が必要だったところ、1人のスタッフでも対応でき、業務の効率化が図れている。また、利用者の身体を抱え上げる必要がないため、介助者の負担が軽減し、腰痛を訴えるスタッフが減った。（満足度80%）</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>バッテリーの充電に時間がかかるため、計画的に利用する必要がある。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年3月1日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人和心会	特別養護老人ホーム和心苑	地域密着型介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	安心ひつじα	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和6年2月 日	1台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>転倒リスクの高いご利用者様や看取り期のご利用者様に使用している。 昼夜問わずベッド上での体動、呼吸や脈拍数を常に把握できることから有効に活用できている。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>リアルタイムで情報が通知されることから、早期の対応が可能となり、介護職員の身体的負担や精神的負担が大幅に軽減された。 また、看取りを実施する際に、ご利用者様のバイタルサインをタブレット等でも確認できるため、介護職員の身体的・精神的負担を軽減できている。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>現時点では不都合な点はありません。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 3月 31日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人東京栄和会	特別養護老人ホームうらやす 和楽苑	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
介護ロボット 見守り	HitomeQ ケアサポートソリューション	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 6年 3月 1日	36台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>日々の業務を行う際に定常的にスマートフォンを携帯し、入居者の行動検知の通知を受信した際に、スマートフォンにて画像・ライブ映像を見て訪室の要否を判断している。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：①4時間 ②14～16名※ ③30日～31日〕</p> <p>〔導入後：①3.5時間 ②14～16名※ ③30日～31日〕</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>稼働開始1か月のため効果創出はこれから検証。</p> <p>見守り業務において、起床・離床・転倒転落疑いでスマートフォンに通知が来た際に、画像・ライブ映像を見て訪室の要否の判断を行い訪室の適正化を行っている。</p> <p>また、ライブ映像を見ることで、入居者の起居動作を確認して個人の身体状況の確認し、より最適なケアの検討をしている。</p> <p>今後は、安心安全に係る取り組みをデータ活用を用いて行っていく。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>特になし。</p>		